



・豊中市
豊中市
内の生ご
みを使った土壤改良材

「豊肥（とよひ）」
で育てられたカボチャの
収穫が十日、同市原田中

二丁目の「市緑と食品の
リサイクルプラザ」付属
農園で行われた。収穫は

市内の保育所の園児らに
よって行われ、カボチャ
は子どもたちの観察用の
教材として利用された
後、給食などで食べられ
る。

豊肥は市内の学校給食
センターで出た調理くず
などの生ごみに、街路樹
などを剪定（せんてい）
した枝を混ぜ、発酵させ
る。

カボチャを収穫する
子どもたち

「豊肥」で育ったカボチャ

園児ら歓声上げ収穫

て作られた土壤改良材。
収穫は市立野田保育所
の五歳児二十人と市立服
部保育所の五歳児十九人
で行われた。子どもたち

は来春、保育所の菜園活
動に活用し、命のはぐく
みやつながりを体験でき
つとして食べる。また種
子を切るなどして調理
に取り組み、給食やおや
つとして食べる。

（豊野由鷹）

はカボチャを見つけて
は、引っ張つてつるから
切り離し「採れた！」と
歓声を上げていた。十五
分ほどで直径十一二十セン
チのカボチャ約八十個、約
百キロを収穫した。

両保育所ともカボチャ

を持ち帰った後、表面や

断面を観察して絵を描い

たり、子どもたちがカボ

チャを切るなどして調理

に取り組み、給食やおや

つとして食べる。

また種子を切るなどして

採れるところを観察す

る。

（豊野由鷹）

2007.8.15 下野の音